

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
http://www.city.ikeda.
osaka.jp/

いけだ

No.188

いけだ市議会だより

令和6年(2024年)2月1日



令和6年 池田市二十歳の集い

12月定例会 2

意見書・決議・請願 3

議決結果 3

一般質問 4

委員会レポート 10

議会日誌 12

やまばと 12

池田市議会

録画映像配信を行っています

市議会では議会改革の一環として、代表質問・一般質問の録画映像配信を行ってきましたが、令和4年3月定例会からは、さらに本会議の議案審議等の録画映像配信を開始しました。

本号 P.4～ P.9 に掲載の一般質問については、紙面の都合上、一部しか掲載できませんので、詳細については、外部サイト「YouTube」において配信しております録画映像を御覧ください。

池田市議会 映像



12月定例会

12月定例会は、12月5日に開会し、市長から議案23件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決しました。

また、9月定例会で閉会中の常任委員会に審査付託した令和4年度決算8件についても認定しました。

さらに、12月21日の継続会では、市長から提出された追加議案2件を審議し、いずれも原案どおり可決した後、市民の声を広く市政に反映させるため、15人の議員が一般質問を行いました。

住民税非課税世帯に給付金給付

12月21日の継続会において、エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受けている住民税非課税世帯を支援するための一般会計補正予算案が提出されました。審議の中では「給付時期」「対象者の確認方法」などについて質疑を交わしましたが、結局、全会一致で可決しました。

《対象者》

基準日（令和5年12月1日）において、世帯全員の令和5年度分の住民税が非課税である世帯の世帯主

※住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。

《給付額》

1世帯当たり7万円

《給付時期》

令和6年1月～3月

商業活性化・消費喚起を 実施

新型コロナウイルス感染症に続き、エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受けている市内産業の消費喚起を目的として、キャッシュレス決済を導入している市内店舗で、購入者が当該決済を利用した際にポイント還元を行うための一般会計補正予算案が提出され

ました。審議の中では、「実施時期」「事業の経済効果」「予算を超過しても事業継続するのか」などについて質疑を交わしましたが、結局、全会一致で可決しました。

《事業内容》

市内対象店舗において、キャッシュレス決済をした消費者に対して、本市が20%のプレミアムポイントを付与して還元する。

《実施時期》

令和6年5月1日～令和6年5月31日（予定）

《予算額》

2億5千万円（予算を超えても期間中は事業継続）

市立7施設の 指定管理者が決定

令和6年3月末で指定期間が満了となる7施設の令和6年4月1日からの指定管理者について下記の表のとおり指定しました。今回の提案では、指定管理者の選考段階での評価点が高水準であったことから、指定管理者の変更はありませんでした。また、水月児童文化センターと児童館の指定期間が4年間となっているのは、現在の五月山児童文化センターの指定期間と合わせることで、業務の効率化や、次の指定管理者公募時に他の事業

者が参入しやすくなることなどを勘案してのことです。その他5施設は前回と同じ5年間の指定期間となります。その他、石橋会館は地元団体等で構成された石橋南地域コミュニティ推進協議会を指定するなど、全7施設の指定について全会一致で可決しました。

《市立7施設の指定管理者と指定期間》

施設名	指定管理者	指定期間	
		開始年度	終了年度
石橋会館	石橋南地域コミュニティ推進協議会	R6.4.1	R11.3.31
くすのき学園	(福)産経新聞厚生文化事業団	R6.4.1	R11.3.31
葬祭場・桃園墓地・五月山霊園	(特非)関西コミュニティ協会	R6.4.1	R11.3.31
水月児童文化センター	(特非)北摂こども文化協会	R6.4.1	R10.3.31
児童館	教友会(池田市退職教職員友の会)	R6.4.1	R10.3.31
ギャラリー	(一財)いけだ市民文化振興財団	R6.4.1	R11.3.31
3R推進センター	(特非)いけだエコスタッフ	R6.4.1	R11.3.31

意見書

12月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○国の負担で学校給食費の無償化を求める意見書

決議

12月定例会においては、次の決議を全会一致で可決しました。

○ダイハツ工業株式会社に対し信頼回復に努め、再生を期待する決議

○パレスチナ自治区・ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

請願

12月定例会に市民から提出のあった請願の審査結果は、次のとおりです。

○学校給食無償化の継続と、質・量の向上を求める請願
採択

○市長提出議案及び議決の結果

議案名	議決の結果
令和4年度池田市病院事業会計決算の認定について	認定(全員異議なし)
令和4年度池田市水道事業会計決算の認定について	認定(全員異議なし)
令和4年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	認定(全員異議なし)
令和4年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
令和4年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全員異議なし)
令和4年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全員異議なし)
令和4年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
令和4年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
職員の退職手当に関する条例及び池田市立幼稚園型認定こども園の教育職員の退職手当に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市消防保安行政事務手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
和解することについて	原案可決(全員異議なし)
池田市立石橋会館指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立くすのき学園指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立葬祭場指定管理者、池田市立桃園墓地指定管理者及び五月山霊園指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立水月児童文化センター指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立児童館指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立ギャラリー指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立3R推進センター指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第8号)	原案可決(全員異議なし)
人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市一般職の職員の給与に関する条例及び池田市立幼稚園型認定こども園の教育職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第9号)	原案可決(全員異議なし)
池田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第10号)	原案可決(全員異議なし)



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。今議会は15人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをたいただきました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 シティプロモーションの方向性について
(未来はくむプロジェクト)

市内と市外の対象者によって、発信内容や方法が異なることを考えられる本市のシティプロモーションについて、基本的な考えを問う。

答 「まちづくり人口」の拡大を目指し取り組む

令和5年度に基本方針を策定し、具体的な取組の検討を進めている。持続的なまちの発展に向け、活動人口、交流人口、関係人口を総じた「まちづくり人口」の拡大を目指し、地域への関与意欲を高める施策を実施していく。市民に対しては愛着や誇りを育み、市外に対しては関心と憧れの醸成を目指す。今年度中に本市の暮らしの魅力をイ

メージできる、シティプロモーションブックを作成予定である。

問 シティプロモーションの進捗状況は
(大阪維新の会池田)

シティプロモーションの中長期計画に取り組んでいるとのことだが、進捗状況を問う。

答 シティプロモーションブックを作成中

令和5年度シティプロモーション基本方針を策定し、方向性を示した。また、現在本市の魅力を写真やイラストで紹介するシティプロモーションブックの事業者の選定中であり、今年度中に完成させて周知に努めたい。

問 支援センターと緊急避妊薬の周知方法
(大阪維新の会池田)

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターや緊急避妊薬の周知により、被害に遭った方の負担を少しでも減らす取組を本市でも進めることができる。緊急対応や薬が必要となる方にとって、情報へのアクセスしやすい方法について問う。

答 啓発期間中は
人権・文化国際課の窓口に配架

当該センターは各都道府県に設置され、大阪府では大阪SACHICOという名称。啓発展示の折には会場で啓発カードを配布した。また、妊娠に関する悩み等の相談窓口の紹介カードを市役所の女性トイレに置き、周知している。

問 令和6年度の施策の展開について問う
(自由民主党)

第7次池田市総合計画は、実施計画はなく、行政評価シートによる事業展開を実施する柔軟な計画と認識しているが、これを踏まえ、令和6年度の施策をどのように展開するのか。

答 新たに導入の事務事業評価シートを活用する

第7次池田市総合計画では、実施計画を設けずに基本構想と基本計画による二層構造としつつ、毎年度事業単位での振り返りを行うことで施策を適切に評価していく。令和6年度以降の施策の展開については、本年9月に公表した令和4年度の行政評価結果を踏まえ、本年度から第7次総合計画に合わせて新たに導入する事務事業評価シートを活用し、市民ニーズや社会情勢を適切に反映するよう努める。

問 計画中期の人口想定について問う
(自由民主党)

第7次池田市総合計画は前後期に分けられているが、前期最終年度の定住人口想定について問う。併せてここ数年の人口減少数について見解を問う。

答 適時人口動態を注視していく

前期基本計画終期の目標値は設定していないが、基本構想の終期における10万人維持の達成に向けて適時人口動態を注視する。近年の市内人口については、少子高齢

一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

- | | | | |
|----|----|-----|----------------|
| 1 | 名村 | 研二郎 | (未来はぐくむプロジェクト) |
| 2 | 園部 | 佳子 | (未来はぐくむプロジェクト) |
| 3 | 笹村 | 有理子 | (大阪維新の会池田) |
| 4 | 松本 | 康二郎 | (自由民主党) |
| 5 | 西垣 | 智 | (自由民主党) |
| 6 | 倉田 | 晃 | (未来はぐくむプロジェクト) |
| 7 | 坂上 | 昭栄 | (池田未来の会) |
| 8 | 中田 | 正紀 | (池田未来の会) |
| 9 | 守屋 | 大道 | (池田未来の会) |
| 10 | 古川 | 裕倫 | (大阪維新の会池田) |
| 11 | 安黒 | 善雄 | (大阪維新の会池田) |
| 12 | 荒木 | 眞澄 | (公明党) |
| 13 | 山元 | 建 | (日本共産党) |
| 14 | 藤原 | 美知子 | (日本共産党) |
| 15 | 多田 | 隆一 | (公明党) |
- (※質問順)



問 地域分権制度推進による財政効果について (未来はぐくむプロジェクト)

地域分権制度推進の最大の成果は自治意識の醸成であると考えますが、制度の定着・充実のためには財政効果の視点も重要である。地域分権制度推進による財政効果について見解を問う。

化等により、今後も総人口の減少は続くものと思われる。

答 事業により人件費抑制につながるものがある

地域分権制度は住民自らが地域課題を洗い出し、解決策を提案する制度である。財政効果については、例えば、各地域が提案されている防犯カメラや街路灯の効率的・効果的な設置、近隣住民との交渉、安全パトロールや環境美化活動などを通じて、職員人件費抑制につながっていると考える。また、これらの活動は、シビックプライドの醸成や住みやすいまちづくりにも大きく寄与している。

問 国際交流について (池田未来の会)

令和7年度に姉妹都市提携60周年を迎えるローンセストン市への記念訪問団派遣について調整を図っているが、派遣団の内容について問う。

また、12月13日に五月山動物園のウォンバットのコウ(オス7歳)が急性心不全で亡くなり3頭となった。今後の新たな受入体制について問う。

答 60周年事業に向け 記念訪問団派遣を計画中

現時点では日程や内容、訪問団の規模は未定。周年事業に向けて計画を進めていく。五月山動物園のリニューアルに向けた再整備計画の中でウォンバット園舎の整備を検討しており、新たなウォンバットの受入れについても計画している。

問 ふるさと納税の増収策に対する見解は (大阪維新の会池田)

ふるさと納税額を増やすためには、返礼品の開発強化が必要と考える。商工会議所の会員に制度の説明や返礼品に係る規則等を説明してはどうかと考えるが、見解を問う。

答 新たな返礼品を募り 増収につなげたい

既に商工会議所発行の会報に返礼品提供事業者募集のチラシを同封するなど、アプローチは実施している。引き続き、制度の趣旨説明等を行い、新たな返礼品を募っていきたく考えている。

問 女性支援新法に基づく 支援体制の強化が必要 (日本共産党)

国の方針に沿った支援体制や地域福祉との連携が必要ではないか。

答 男女共同参画推進計画と 一体的に策定の予定

人権擁護、支援体制、地域との連携等、令和6年度中に策定予定。

問 本市独自の奨学金返還支援事業の導入を
(公明党)

答 現在、多くの若者から奨学金返済の負担軽減を求める声や支援依頼の声を頂戴する。そこで、若者支援を目的に、そして、本市への移住・定住を後押しする観点からも、本市独自の奨学金返還支援事業を新たに導入すべきと考え、見解を問う。

問 国等の動向を注視しつつ必要な施策を検討
(公明党)

答 大阪府においては、本年11月から中小企業等による奨学金返還支援制度の導入を促進する事業を実施。本市としても、国や大阪府の動向を注視しつつ、若者支援、移住・定住促進に向けて必要な施策を検討していきたいと考えている。

問 大阪・関西万博終了後
不用となる資材活用を
(公明党)

答 大阪・関西万博では、高級建材が大量に使われると聞き及んでいる。その一方で、半年の開催期間が過ぎれば、地盤沈下の心配があることから、そうした資材を使った建築やパビリオンは、すぐに撤去、解体されるものごと。

そこで本市において、今後更新が必要となる施設に万博で不要となった高級建材を活用したり、もしくは、パビリオンをそのまま移転したりできないか。

問 循環型社会構築の観点で
本市環境施策に寄与
(公明党)

答 SDGsの理念を形とした取組だと認識。各法律の規定が遵守できる場合、万博で不要となった高級建材の活用や、パビリオンの移転については、費用も鑑みながら検討してまいりたい。

問 どれだけ人材育成したかを
評価する取組を
(公明党)

答 AIによる人事評価システムが活用される時代が来ると言われている。しかし、人間を育てるのは人間だと考える。現在も多くの職員が人間的なつながりが重要だと指摘している。「人材を育てる人こそが、真の人材」との観点で、具体的に評価する制度を。

問 人材育成の取組は
大変重要だと認識
(公明党)

答 現行の人事評価制度の中にも、そうした評価項目はあるが、組織力のアップにつながるようなので、今後も具体的な手法を考えていく。

問 市立池田病院の屋上の
利活用は可能か
(大阪維新の会池田)

答 市立池田病院の屋上が荒れ放題。緑化で患者の憩いの場の提供、リハビリコースに活用できないか。また、緑化管理は地元ボランティア団体や学生たちにしていただくよう、屋上解放ができないか。

問 屋上は職員が目が届きにくい
慎重に判断
(公明党)

答 病院屋上使用は、設備老朽化や入院患者の安全面、容体の急変等の対応に支障があり、現在は使用を控えている。今後も医療職員の意見を踏まえ、慎重に判断する。

問 池田市立北豊島中学校の
取組について
(未来はくくむプロジェクト)

答 北豊島中学校は、チーム担任制やノーチャイム運動等、子どもたちの主体性の育成を目指した独自の取組を継続している。成果や今後の課題と方向性について問う。



問 主体性を生かしつつ
課題整理し支援していく
(公明党)

答 北豊島中学校の独自の取組は、これまでの学校文化として固定観念化していた取組を見直すきっかけとなった。ただし、授業の中で指導者が教えること、生徒が自ら学ぶことについて整理が必要。今後は生徒の主体性を生かしつつ、授業や行事を行うことについて、学校を支援していく。

問 校内教育支援センター
全校設置について
(未来はくくむプロジェクト)

答 現在、中学校4校、義務教育学校1校、小学校3校に設置されている不登校対策・支援のための校内教育支援センターを、公立小学校の全てに設置すべきと考え、見解を問う。

問 全校常設化に向けて
取組を推進していく
(公明党)

答 不登校者数の増加を受け、校内に教室以外の場所で日常的に活動できる居場所が必要であることは、十分認識している。既に設置している学校の運用方法や取組事例を共有するとともに、全校常設化に向けて環境整備や人的支援を含めた取組を推進していく。

**改訂版生徒指導提要の
教員・生徒への周知は**

(大阪維新の会池田)

昨年12年ぶりに改訂された提要の内容を生徒指導にかかわらず当事者の皆さんが理解しているか。全ての子どもの自分にかかわることを知る権利が守られる環境と意見を表明する機会の保障に努めていただきたい。

**改訂の要旨を周知
一層の充実に努める**

生徒指導提要は生徒指導の実践に関する基本書として、理論・考え方が網羅的にまとめられ、自発的・主体的な子どもの発達を学校や教職員が支えていく重要性が示されている。生活指導担当者へ改訂の要旨を周知、今後も提要を活用し一層の充実に努める。

**留守家庭児童会の体制と
設備の強化について**

(池田未来の会)

令和7年4月より受入れ学年を4年生までに拡充予定だが、適正な指導員の確保や、Wi-Fi環境、パソコン等の機器の導入が必要と考える。設備や備品の充実に向けた取組について問う。

**学校とも連携し運営体制
取組強化に努める**

令和7年度における児童数の推移を予測した上で確保する。生活環境向上の観点からも、Wi-Fi環境など設備充実の必要性を認識。国・府補助等の財源確保策も注視し適切な設置を検討。

**くれば音楽堂の
休館について**

(池田未来の会)

なぜ平成20年のリニューアル時に耐震基準に見合った工事をしなかったのか。また、今日まで耐震診断をしなかった理由を問う。

**学校施設の耐震化を
優先していた**

平成19年度に行った改修工事は、アスベストの除去と学校施設であった音楽堂を一般市民が利用できる社会教育施設にするための改変を主な目的としていた。

耐震診断については、有効に使える財源がなかったこと及び、学校施設の耐震化を最優先としていたことから、今年度まで実施を見送っていた。

**池田高が高校アメフト発祥の地
とした教材は**

(池田未来の会)

郷土学習は大切な学びであると認識している。府立池田高校が「高校アメリカンフットボール発祥の地」であるといった教材などはあるのか問う。

**高校アメフト発祥の地
とした教材はない**

「高校アメリカンフットボール発祥の地」であることに関する教材は、現在、学校現場において取り扱っていない。

2028年のロサンゼルスオリンピックにおいて、フラッグフットボールが追加種目として正式決定したことを踏まえ、今後、教材化のための資料収集を検討していきたいと考えている。



**保育施設における
人材確保について**

(未来はくぐもプロジェクト)

保育者確保は困難な状況にあり、保育者が確保できなければ子どもの受入れに支障が出る。池田市として近隣他市との競争にも負けないような施策が必要であると考え、見解を問う。

**人材確保支援と離職防止施策を
検討しよう**

人材確保の根本的な解決策の一つが離職防止であり、各保育施設において、働きやすい、また働きがいのある職場環境の醸成・整備が重要。引き続き、人材確保の支援をするともに、各就学前保育施設と共に離職防止に資する施策を検討してへ。



問 介護認定の認定までの所要期間について

(自由民主党)

介護認定の申請から許可が下りるまでに時間を要している現状があり、市民より認定が遅いこの声が寄せられている。現在の認定までの所要期間と改善の余地を問う。

答 スケジュールどおりであれば30日

30日以内という規定があるが、認定調査書及び主治医意見書が揃い次第の審査となるため、調査立ち合いに時間を要したり、主治医意見書の提出が遅れる等の理由で結果が出るまでに時間を要することもある。市としては期限を過ぎても提出のない場合は、早期提出を促していきたく考えている。

問 駅周辺の喫煙禁止地域指定ができないか問う

(池田未来の会)

この度、長期の課題であった池田駅前喫煙所が移設される。それに伴い密閉型の喫煙所になることで、吸う人と吸わない人の権利を尊重した事業と喜んでいるが、もう一步その事業を進めて、近隣市(豊中市・箕面市・茨木市・高槻市・摂津市・吹田市・川西市・伊丹市等)

で設置が進んでいる喫煙禁止地域を指定することができないか問う。

答 池田駅周辺を重点区域に指定する予定

大阪府の受動喫煙防止条例を周知するとともに、喫煙所の移設を契機として阪急池田駅周辺を受動喫煙防止重点区域に指定する準備を進めている。

問 アーケード商店街での喫煙は可能か問う

(池田未来の会)

大阪府受動喫煙防止条例にはアーケードが設置された商店街での喫煙について禁止すると記載があるが、本市の見解を問う。

答 アーケード商店街での喫煙は禁止である

大阪府受動喫煙防止条例では、アーケードが設置された商店街は屋内とみなされることから、本市としても喫煙禁止であると認識している。

問 子宮頸がんワクチンの男性への接種費助成を

(公明党)

市民の健康を守り、将来の子育て世帯への支援策ともなる男性への子宮頸がん予防ワクチン接種の

助成について、本市としても前向きに検討すべきと考えているが、見解を問う。

答 市の財政状況等を勘案しながら検討する

男性への接種についてはメリットがあること、そして、国内においても独自に接種費用を助成している自治体が増えてきていることは承知している。今後は市の財政状況などを勘案しながら検討する。

問 多世代交流センターの内容について問う

(日本共産党)

多世代交流センターには市民の声を反映せよ。

答 世代を超えた市民の集う場として整備

敬老会館の活動継続に配慮。地域集会所として学習室・集芸室・フリースペースなどを設置予定。浴場は廃止するがふれあい優待入浴事業の拡充を財政状況を見て検討。



問 細河地域の地域活性化について

(自由民主党)

細河地域にコストコや阪急電鉄の実物車両に触れられる体験展示型の阪急博物館など、池田市の特性や強みを生かした施設を提供することで、まちの活性化や雇用の創出が図られると考えるが、見解を問う。

答 農園芸をテーマとした地域振興の拠点を整備する

細河地域の活性化については、農園芸をテーマとした地域振興の拠点を整備することで、周辺の資材置場や耕作放棄地対策にもつながっていくものと考えている。また、現在進めている農福連携事業やスマート農業の普及などによっても企業誘致や雇用創出につなげていくことが可能であるものと考えている。

問 道の駅構想の推進について

(未来はくくむプロジェクト)

企業・金融機関・地域内の各種団体を取りまとめ、官民連携で進めようと努力してこられたと認識しているが、細河地域の活性化は池田市全体の課題であり、行政主導で取り組む必要があると考える。

市主導による単独型の「道の駅構想」の推進について見解を問う。

問 引き続き「民設民営」の方向へ取り組む

現時点では、民設民営で実現可能な事業スキームを官民連携で検討しており、引き続き実現に向けて取り組む。

問 阪急池田駅南側の今後の将来像は
(大阪維新の会池田)

池田駅南側の市道やせせらぎモールについて、にぎわい創出と空間の有効活用の観点からどのような将来ビジョンを描いているのか。

答 せせらぎモールの廃止と広場整備に着手

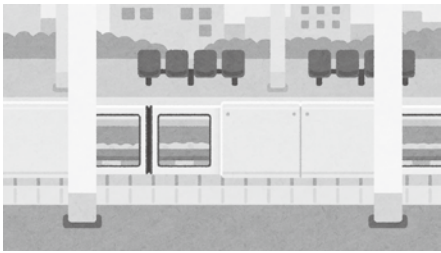
せせらぎモールは昭和62年の送水開始から36年経過し、維持管理費用が年間720万円、処理場から約2.3kmの全ての圧送管を更新すれば約6億円の費用が必要。来年度からせせらぎモールのななくし駅前空間を広場に再整備することでベンチ等の休憩場所の設置が可能。地元団体・関係機関等との調整を図り、にぎわい創出も見いだす。令和7年度のリニューアル完成を目指し、来年度の工事予算を要求中である。

問 石橋阪大前駅に転落防止ステップを
(日本共産党)

2025年石橋阪大前駅ホームドア設置に合わせて転落防止可動ステップと下りホーム側トイレ設置を阪急に申し入れるべき。

答 櫛状コムを設置

可動式ステップは現状では物理的に困難。櫛状コム設置で対応予定。トイレ設置は阪急に要望していく。



問 水路水流復活でホタル舞う商店街を
(日本共産党)

石橋商店街を貫く今井水路の水は環境面・教育面・経済面・営農面・防災面から見て貴重。溢水対策を徹底しながら水流を復活すべき。

答 ポンプ設置などで通水検討

通水について地元からも要望が出ている。箕面川からのポンプ取水などを検討中。

問 保証人確保規定撤廃で高齢者に住まい確保を
(日本共産党)

高齢者世帯、特に身寄りのない高齢者の独り暮らしは、民間住宅への入居が困難であり、公営住宅の入居要件から保証人確保の規定を廃止する自治体が増えている。

本市でも入居困難な高齢者に対し、住まいの確保ができるよう、保証人要件を廃止してはどうか。

答 家賃収納率の改善と併せて見直しを進める

大阪府は府営住宅入居に際し、保証人規定の撤廃の方針を示しており、本市も家賃収納率改善策と併せて見直しを進めていきたい。

問 クリーンセンターへのごみの持込みについて
(日本共産党)

クリーンセンターへのごみの持込み時、本人が同乗しているにもかかわらず戸籍謄本を求められ、ごみを捨てられなかったとの苦情があったが、行き過ぎではないか。

答 市外からの持込禁止のため本人確認している

本人が運搬できず別居の親族に運搬を頼む場合、市内で発生したごみと確認するため、排出者との関係性を戸籍謄本で持ち込まれる方と確認している。



委員会 レポート



12月定例会では、市長から提出された議案のうち23件の議案に加え、市民から提出された請願1件を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

12月21日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

また、請願1件は採択しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

市民からの寄附金を財源に今年度救急車を購入しない理由は

〈一般会計補正予算〉

問 今回、市民から救急車購入のためにと受け入れた寄附金4千万円を歳出としてみんなで作るまち推進基金に積み立てると同時に、歳入として同額をみんなで作るまちの寄附金に追加補正している。

答 今回の寄附金を財源に来年度救急車を購入することだが、今年度購入しない理由について問う。

また、今回の寄附者は匿名を希望しているとのことだが、購入予定の救急車の車体に寄附によって購入したことが分かるような表記をする予定はあるのか問う。

年度内の納車が困難

答 当初寄附者は今年度中に救急車の現物寄附を希望されていたが、寄附の申し出があった際に、救急車の製造業者に納期を確認したところ、年度内の納車は困難であることが分かった。

もともと、来年度に救急隊1隊の増隊予定と併せて救急車1台の

増車計画があったため、その購入費用に充てさせていただくことにした。

また、寄附者から救急車の車体に愛称を表記してほしいとの要望があるため、その意向に沿った表記を検討している。

今後の共同利用施設などの管理運営の在り方は

〈石橋会館指定管理者の指定について〉

問 今回、石橋会館の指定管理者候補者に現在の同会館の指定管理者である石橋南地域コミュニティ推進協議会を選定している。

当該協議会においてもメンバーの高齢化が進んでおり、5年後さらには10年後の指定管理者の選定时を危惧する意見があると聞いている。

当該会館に限らず、指定管理者制度を導入している共同利用施設などの会館の管理運営は、同様の課題に直面していると認識しているが、今後の共同利用施設などの管理運営の在り方について問う。

後継者不足など課題を踏まえながら検討

答 共同利用施設などの各会館等の指定管理者には、地元団体などで構成された管理運営委員会が指定されている。

指摘のとおり、石橋南地域に限らず市内各地域においても地域団体などのメンバーの高齢化が進んでおり、後継者不足が課題となっている。

今後は、後継者不足をはじめ、人口減少や管理人の成り手不足などの課題も踏まえながら、共同利用施設などの再編を検討していく必要があると考えている。





文教病院委員会

指定期間を合わせたことによる
想定する効果は

《水月児童文化センター指定管理者の指
定について》
《児童館指定管理者の指定について》

問 今回の提案において、水月児童文化センターと児童館の指定期間を現在の5年から4年に短縮している。

これは、五月山児童文化センターの指定期間の終了期にあわせて4年にしたとのことだが、想定する効果について問う。

**他の事業者が参入しやすくなる
ことなどを想定**

答 想定する効果としては、市の業務の効率化をはじめ、今回の指定管理者の公募時に他の事業者が参入しやすくなることなどがある。

厚生委員会

委託業者に対し一定の賠償を
請求するべきでは

《和解することについて》

問 今回の提案は、新型コロナウイルスに接種に関する委託業務において、委託業者の再委託先が勤務実績を増やしたことなどにより、過大な委託料の請求を受けたため、本市が損害を被ったことについて、和解するものである。

不当利得額に遅延損害金を加えた返還額については、全額国へ返還することだが、本市も被害者であるため、事務負担相当など一定の賠償を請求するべきではないか。

**賠償額の算出が困難なため
請求については断念**

答 指摘のとおり、本市においても一定の事務負担が生じているが、事務負担分の金額のみを算出することは、非常に困難であるため、賠償の請求については断念せざるを得なかった。

また、本市と同様に委託料の過大請求があった自治体に対しても可能な範囲で照会を行ったが、賠償を請求している自治体はなかった。

本市における
こども家庭センターの機能とは

《一般会計補正予算》

問 今回、改正児童福祉法において全国の市区町村への設置が努力義務化されたこども家庭センターの開設準備費用として子育て支援費495万9千円を追加補正している。

本市において、こども家庭センターは、どのような機能を持つ機関として設置しようと考えているのか問う。

**子育て世代包括支援センターと
子ども家庭総合支援拠点双方の
機能を二元化**

答 新たに設置が努力義務化されたこども家庭センターは、母子保健法に基づき子育て世代包括支援センターと児童福祉法に基づき子ども家庭総合支援拠点双方の設立意義や果たしてきた機能及び役割を維持しながら二元化する組織である。

本市においては、現在、それぞれの機能を健康増進課及び子育て支援課内に位置付けているが、これらの機能を一元化した組織を令和6年4月に保健福祉総合センター内に設置することを検討している。

土木消防委員会

これまでの指定管理者の評価は

《3R推進センター指定管理者
の評価について》

問 3R推進センターの指定管理者候補者である特定非営利活動法人いけだエコスタッフは、平成21年7月から令和6年3月末までの3期にわたり、当該施設の管理運営を行っているが、これまでの同団体の評価について問う。

**担当課、指定管理者選定・評価
委員会ともに高く評価している**

答 指定管理者の総合評価は優良・可・不可の4段階評価となっている。

同団体の総合評価は自己、担当課及び指定管理者選定・評価委員会全てにおいて、優であった。

指定管理者選定・評価委員会は同団体が、新型コロナウイルス感染症の拡大や施設の移転が重なった中においても、イベントや新規事業の実施など多種多様な事業を展開するとともに、中間支援を行うなど幅広い活動に加え、フードドライブネットワークの構築やSDGsの取組などをいち早く取り入れていることなどについて、高く評価している。

献血御協力のお礼

昨年の12月2日に、本市議会が主催となり、献血推進活動を行いました。

たくさんの方々にご足を運んでいただき、76名の方が献血の受付を、5名の方に骨髄バンクのドナー登録をしていただきました。

献血とドナー登録に御協力いただきまして誠にありがとうございました。



議 会 日 誌

10 月

- 10月10日 土木消防委員会
- 10月16日 厚生委員会
- 10月17日 市議会だより編集特別委員会
- 10月19日 文教病院委員会
- 10月23日 総務委員会
- 10月24日 土木消防委員会
- 10月30日 文教病院委員会

11 月

- 11月1日 厚生委員会
- 11月2日 市議会だより編集特別委員会
- 総務委員会
- 各派代表者会議
- 11月30日 議会運営委員会
- 議会運営委員会
- 議会運営委員会

12 月

- 12月5日 市議会定例会
- 12月7日 土木消防委員会
- 12月8日 市議会だより編集特別委員会
- 12月8日 厚生委員会
- 12月11日 文教病院委員会
- 12月12日 総務委員会
- 12月21日 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 市議会定例会
- 12月22日 市議会定例会
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会

1 月

- 1月11日 市議会だより編集特別委員会
- 1月17日 市議会だより編集特別委員会

議会の予定

3月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

- 2月28日(水) 本 会 議
- 3月 7日(木) 本 会 議
- 3月 8日(金) 本 会 議
- 3月11日(月) 委 員 会
- 3月12日(火) 委 員 会
- 3月14日(木) 委 員 会
- 3月19日(火) 委 員 会
- 3月28日(木) 本 会 議

やまばと

元日に発生した「令和6年能登半島地震」で、犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

そして、一日でも早い復旧復興と、被災者の皆さまに平穏な日々が戻りますことをお祈り申し上げます。

さて、我が国の経済は、国際情勢などの影響により物価が高騰し、まだまだ厳しい状況にあります。

このような状況だからこそ、皆さまに希望と安心をお届けできるように10万市民に軸足を置き、本市議会は、更なる市民サービス向上に取り組んでまいります。

本市議会だよりも、市民の皆様へ議会の審議内容等を分かりやすくお伝えできるように、充実した誌面づくりに努めてまいりますので、引き続き御愛読を賜りますようお願い申し上げます。

市議会だより編集特別委員会

- 委員長 西垣 智
- 副委員長 中田 正紀
- 委員 笹村 有理子
- 委員 藤本 昌宏
- 委員 園部 佳子
- 委員 山元 建